

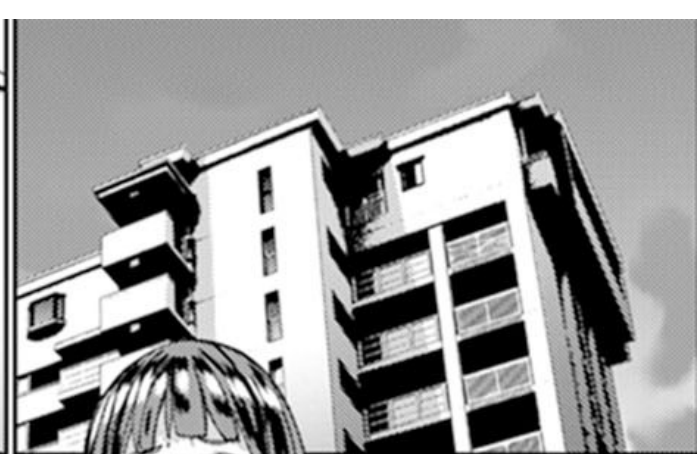


エロマンガ島



帰るの
やだなあ…

はあ…



着替えの
途中で部屋に
入ってきたり…



お気に入りの
下着も一枚
無くなつてたし…
もしかして…



家が落ち着く場所じゃ
なくなつたのは
お母さんが再婚
してからだろうか…

ありみず
有水 みつき
(旧姓)倉元



私の養父…
有水 清…

彼の視線が
最近少し
おかしいのだ…



おや？
今帰るかい？



はい…

やだ…
二人きりだ
なんて…

こんな時間まで
部活か？

きよし
ありみず
有水 清

みつきの母の
再婚相手



家族なんだから
そろそろ
お父さんと
呼んで欲しいなあ
……



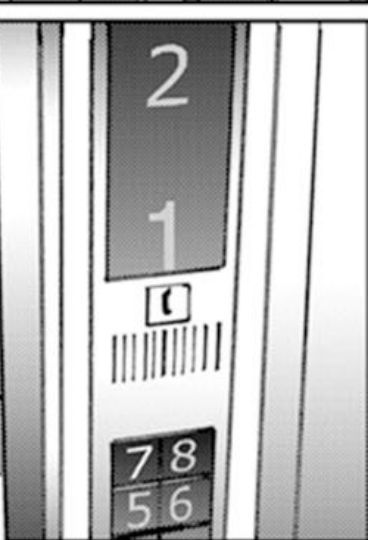
みつき…

有水さんも
遅くまで
お疲れ様です…



女の子なんだから
あまり帰りが
遅くなるのは
感心しないな

はっはい…
気をつけます
……







本当に
いやらしい
体だ…



大丈夫かい？
こっちへ
寄りなさい…

ああみつぎ…
ずっと見てるよ
毎日毎日…



暗いなあ？
そこに
いるのかい？

少しは
お父さんのこと
頼って欲しいなあ…



寂しいこと
言うなよ…
家族じゃないか



スッ



だっ大丈夫
ですからっ！



空調が止まった
みたいだ…
このままでは
熱中症になって
しまうだろ？



な…なっ…
何するんですか!?



すまんすまん
暗くて手元が
見えなくてね…



少しボタンを
外しなさい
楽になるから



可愛い
下着だねえ…

ひっ！



うそっ…
信じられない…
何言ってるの…？



チリ













えっ…?
嘘…でしょ…!
こんなの…
見たことないっ…

ひっ!!

ポロッ



いい顔だ…
みつき…
もっともっと君の
いろんな表情が
みたいよ…

いやだ…
こわいよ…

どうしたんだい
そんな顔して
……

スッ



















どうしたんだ…
早く乗らないと
濡れてしまうぞ…



スッ



「ギアイアイ」…

ど…どうして…
有水さんが…



またこんな時間まで
部活かい？
悪い虫でも
ついてるのかな…



そっ
そんなんじゃ!!



お母さんは
今ちよつと手が
離せなくてね…



お願い…
早く家に…
着いて…



……



家…こっちじゃ
ないですよ…

ちよっと
お母さんに
頼まれごとが
あってね…



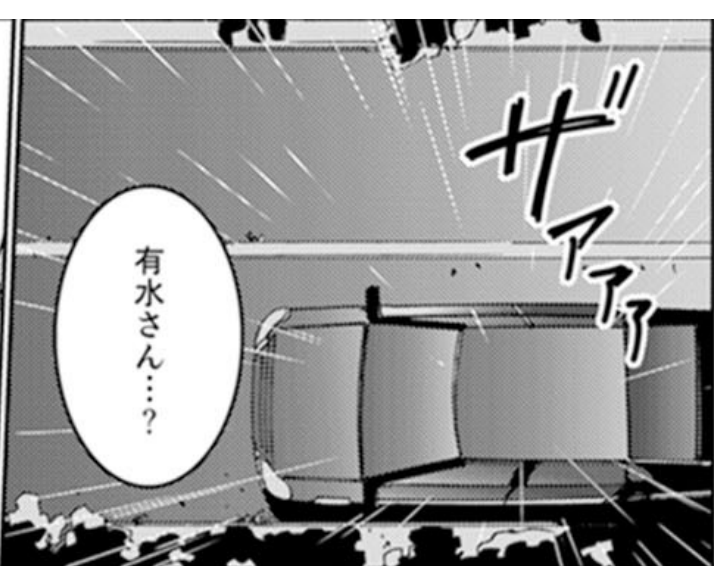
えっ

ブッポン



あの…有水さん
どこへ？

キィ…















本当に何も
やましいことなんて
ないんです！

もっと
近くで見ないと
わからん…

有水さん！
やだっ！

よく
見えないなあ



色は
キレイだが…

どれどれ…
ふむふむっ

やめて…







雨に濡れて
風ひいたかな...

熱あるし今日は
学校休んで
ゆっくり
してなさい...

何言ってるんだね
そのお母さんと
相談して
決めたことなんだ...

うん...

そんなはず
ないよね...
お母さん...





あれ…?
聞こえないの
かな…



お母さんっ
……



んん…

んっ…暑っ…



お母さんは急に
日勤が入ってね…
家を空けると
連絡があつたから
様子を見にきたんだよ

でっでも
有水さんだって
会社が…



こら…寝てないと
ダメじゃないか…



なっ…なんで
有水さんが…!?



遠慮しなくて
いいから…



食べさせて
あげよう…

だっ大丈夫
ですから…
自分で…



なあに言ってるんだ
家族が倒れているんだ
このくらい当然だよ…
ほら桃を剥いてきたよ



着替えないとな



すごい汗
じゃないか…















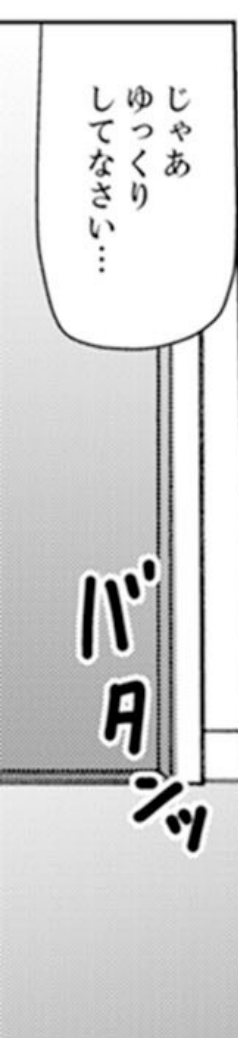
それじゃ
夕飯の支度して
くるわね
みつきはおかゆが
いいかな？



え？



私のせいで…
お母さんの幸せを
壊すことに
なったら…



じゃあ
ゆっくり
してなさい…



そうだな
食欲も
ないみたいだし
それがいいな



待つ…!?

































友達と
お勉強ねえ…

グッ



お父さんに
嘘について
男と二人きりに
なるなんて



わ…私
嘘なんて…



こんなに
肌を露出して
お勉強かい？

!!

ギャッ

キャッ

ストッ

悪い子だ…
お仕置きを
しないと…



そんな…
安住くんとは
何も…

こんな
所で…やめて…



あの男とも
こんなことを
してるのか？



いやっ！



ひぐっ！！

ズン

安住くんか…
覚えておこう…



んっ

やつ!

ズッ

ズッ

こ…こんな
ところで…
やめっ…

みつきが嘘を
つくから
いけないんだよ…

やましい気持ちがあつたから嘘をついたんだろう?

そ…
そんな…

グググ

グググ













へっ?
ううん...
大丈夫...

















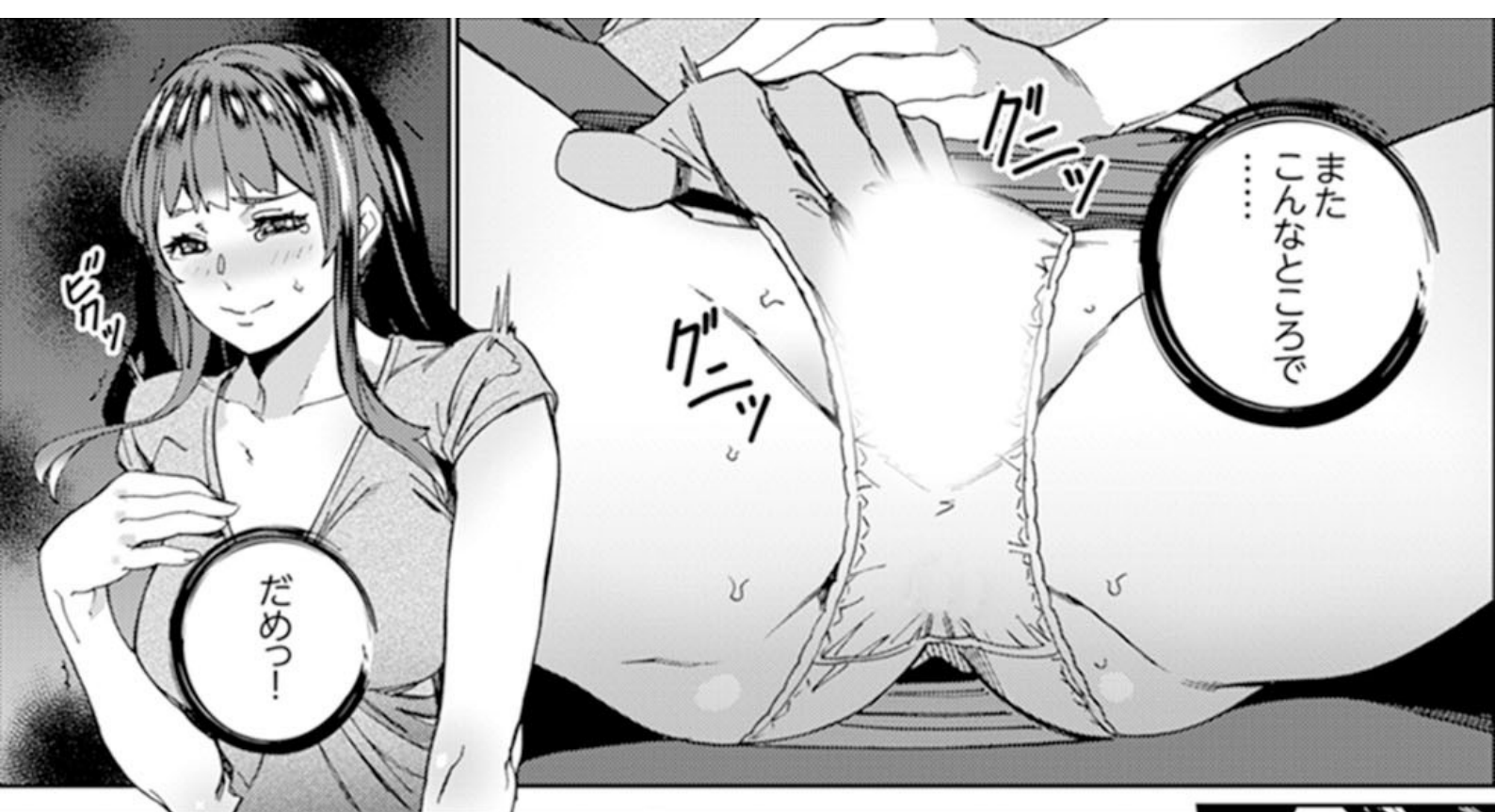












だめっ!

また
こんなところで
……



んっ

んっ



顔が真っ赤
じゃないか...
料理が熱かったか?



んっ

グニッ

グニッ

んっ

安住君が
いるのに...







もう…
その話は…!



みつきは
男子に
人気なのかな?



それに…

ええ
人気ありますよ
頭もいいし…



んっ



ハッ



んっ！
でもこんな
状況じゃ…



えっ
安住君が
褒めてくれた
…？



美人だって
…



父・親として
嬉しいよ

んっ！



喜べない！

そうかあ
やっぱりなあ

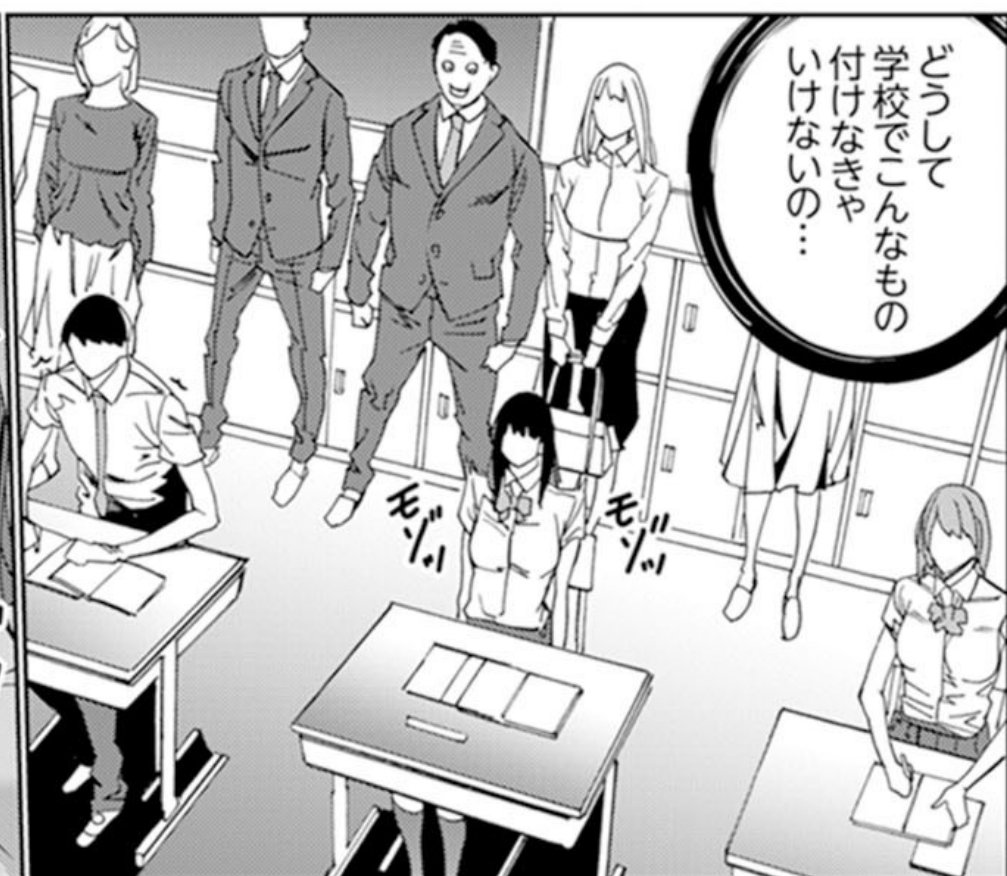
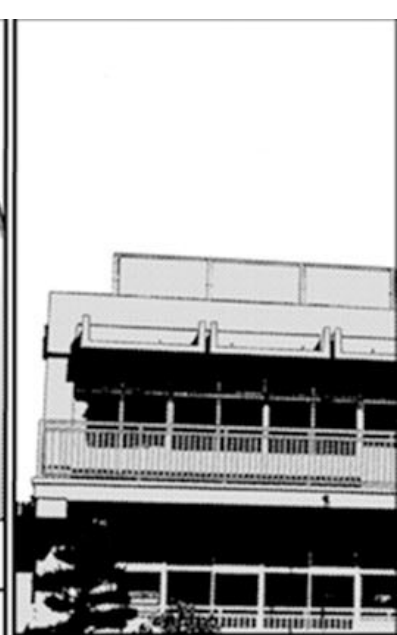
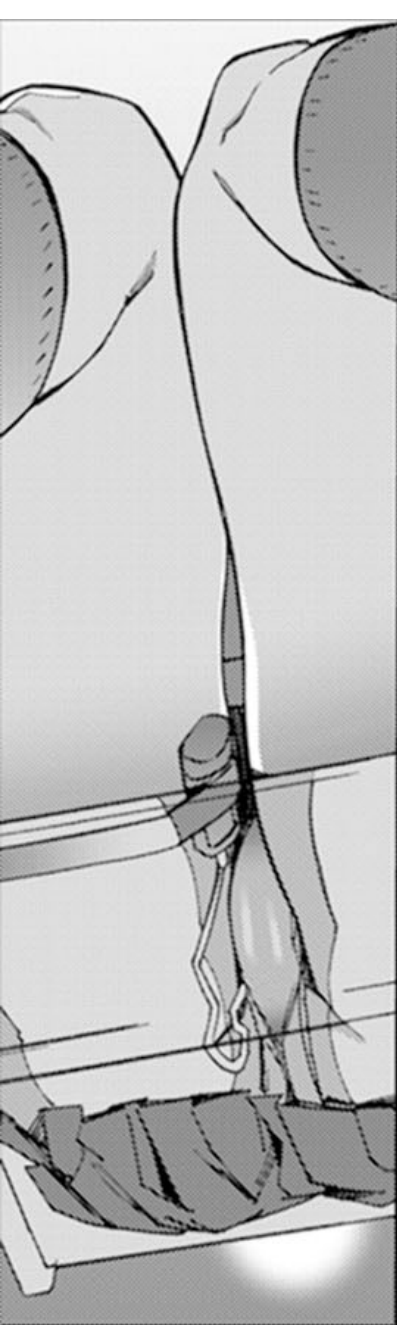




















大丈夫よ
あの子
いい子だから



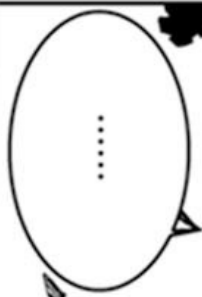
緊張するな
.....



はじめまして
.....



そして
これが...



みつきとの
出会い...



本当に？
病院では
あんなにしっかり
してるのに…

そうなんです
この前も
塩と砂糖を
間違えて…



はい…
よく言われます



こら変なこと
言わないで！

だって本当の
ことじゃん



今日は
安心しました…
お母さんの
相手がどんな人か
ドキドキして
たんです…

でも有水さん
いい人みたいだし

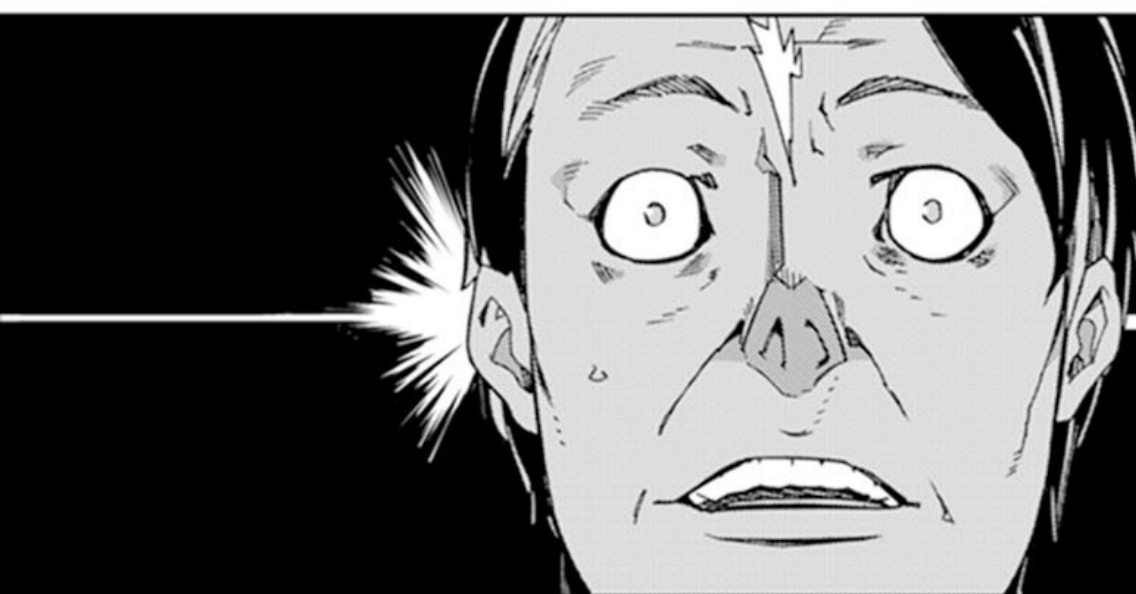
それに
こんな風に
してると…



仲良いんだね
……



なんか…
家族みたい



か家族
…!!



また
持つことを
許してくれる
というのか…

ギョッ



一度
壊してしまった
家族を…



えー
そうなの？

こら！
みつき
私達はまだ
そんなんじや…



…
この俺に…





いてて…
ごめんなさい！

みつぎ…

こら！
大人を
からかうん
じゃない！

そして…
その日から

この日の
一言で俺は
救われた
気がした…

一緒に過ごす
時間が徐々に
増えていき





私の中で
二人は
無くては
ならない

美希への
愛情は
本物だ…
だが…

みつぎは…

かけがえのない
ものに
なつていった…



そう…
だから…

それ以上の
存在だ…













みつき…



えっと…

許さんぞ…
私は許さん！



安住…
またあいつか
…



私が守って
あげるからね
…



びん／＼

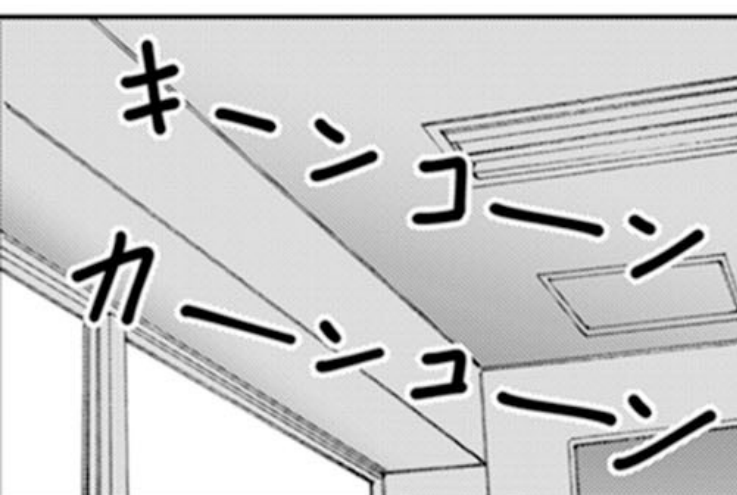
ニヤ／＼

んんっ

ズン／＼

ズン／＼











先生に…
相談…?
でもそんなこと
したら…



有水はどうかかな?
その様子だと
お義父様とは
上手くやっている
ようだね

えっ!?



ええそれなりに
上手くやっっては
いるつもりです

まあ年頃ですし
色々
難しいことも
ありますが



!! やっぱりきた
こんな…
先生の前で…

いきなり
立ち入った話で
失礼しました
進路について
ですね…



ははっ
照れること
ないのに

スツ



えっ

ピクッ



頼りになる
いい先生だな
みつき…

こんなこと
言えない…
ゼツタイ…



んっ…



はい…
まだ志望校は
決めてない
ですけど…



んっもう…
自分でなんとか
しなきゃ…

…



またまた
おだてないで
くださいよ

進学で
いいんだよな？

先生は有水の
成績なら上を
目指せると
思ってるけど…















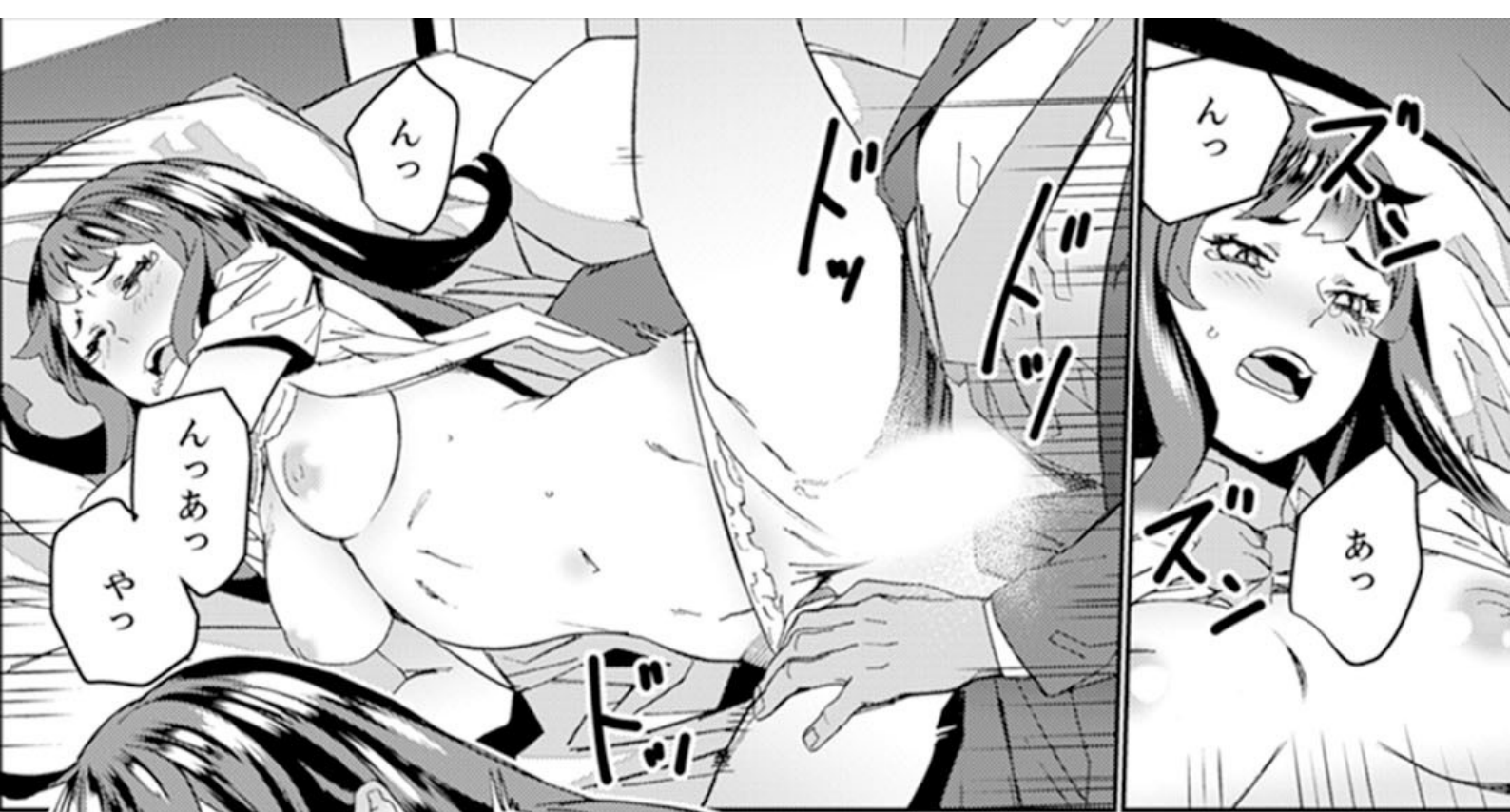














そ…
そんなこと…



ボソッ

みつき…
嬉しいよ
こんなに感じて
くれて…

んっ



…でも…
私…こんな
状況なのに…

んっだめ！

感じてる…！

んっ

ウソは
だめだろ！



…
有水さん？



びん

ガッ



んんっ!!

んあっ!

有水さん?

スッ

フムッ

だめっ!
イクツ...!

ドゥ

あふっ...

!!

ニャッ









ここ女子更衣室
ですよ！



いたいた

逢沢先輩!!

もう練習
始めるよ
みつき

あいざわ ゆうま
逢沢 悠真
テニス部先輩



ごめんごめん
……でも……



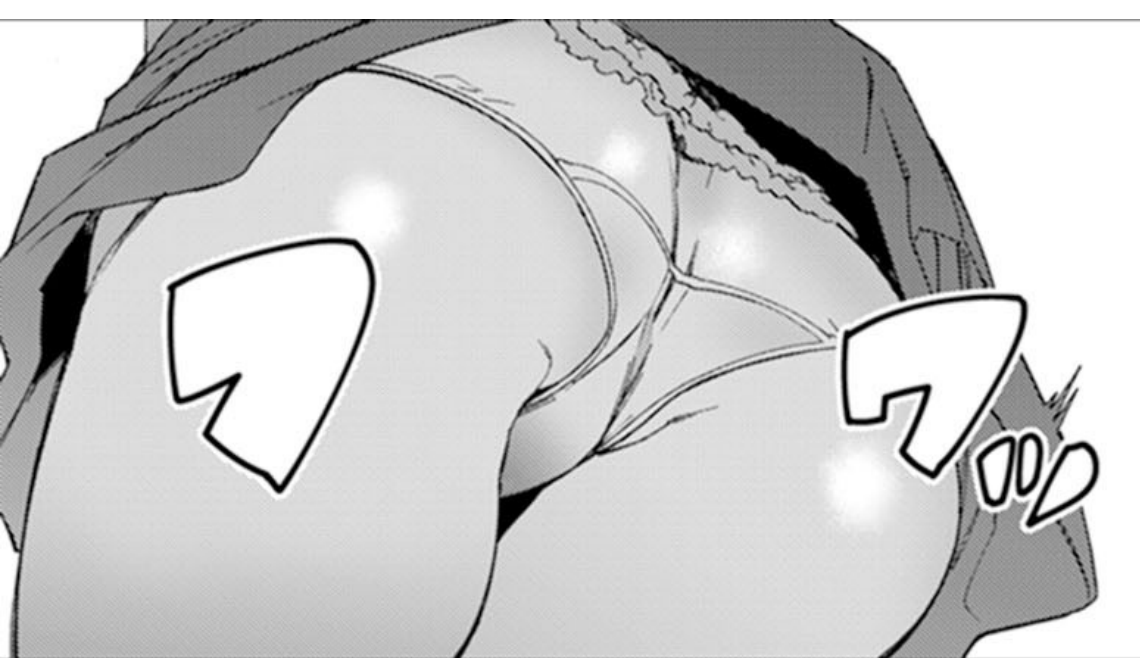
なっなんでも
ないですよ……



何かあったの？
落ち込んだ
顔して……

えっ!?

































だめっ



あの…
先輩…
待って…
ください…



んっ



それは…



有水さん…



あっ





学校に
このことを
言われたく
なければな



わかったか！



いいか！
二度と娘に
近づくな！！



倉元…？



待って
有水さん！

？

いいから
来なさい！

ガッ！

行くぞ
みつぎ！！



















んぐっ!!
んあう!!

壊させや
しないぞ!!

んあああつ!

あらんっ!

ん
ん
ん



電話にも
でないし…
ついここまで
きたけど…



蔵元：
学校でお養父さんと
トラぶってるぽかった
けど大丈夫かな？







そんなの
無理だよ
……



ハッ



今夜
有水さんと
二人きり
なんて……

ハッ
ハッ
ハッ

……



みつぎ……



とにかく
今日は友達の
家に……

ズン

ズン

ズン





そうだ！
安住くん
助けを！



い
な
く
な
っ
た
…
？



？安住くんから
着信…
なんだろう…



みつき…
どうして
開けてくれないんだ





きゃあつ!

!!
イ=イッ

アッ

待て!
みつき!

バッ

どうして
言う事を
聞いて
くれないんだ!

グッ

カッ

きゃつ!

やめてください!
いや!

グイッ





んあ

アッ

アッ

グッ

グッ

あっ

んっ

体は素直じゃないか…みつき…さあ心も素直になりなさい

嫌なのに…
なんで
こんなに感じるの…?

んっ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

んっ

!!



















まったく
この忙しい
時に……



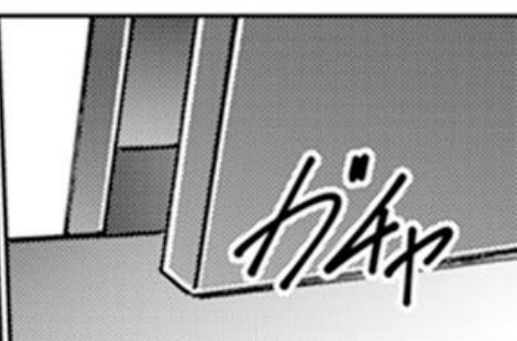
有水さーん！
いませんかあー！



うるさいなあ
……
今はそれどころじゃ
……



なっ！



はいはい
どこからの
荷物ですか？





フッ



俺の家族に
手を出すな!!



待て!
どこにも
行かせないぞ!



グッ





みみつき…



待て…
待ってくれ…

フッ



あなたなんか！
家族じゃない！！



ハッ



みつき！！



その後
みつきと美希は
家を出て行った
：

結局また
私は…
一人きりに
なってしまった…



これから
どうすれば
いい…？



全てを失い…
もう生きる希望も
何もかも…



えー
本当に？

一体何が
いけなかった…
いつどこで
間違えた…



いや…
まだ…
私は…



もうやめてってー
そんなんじゃ
ないよー



非常停止したエレベーターで・・・ 義父と暗闇SEX 【完全版】

発行日 2017年11月1日

著者 OUMA

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。